

66 鳥取大学

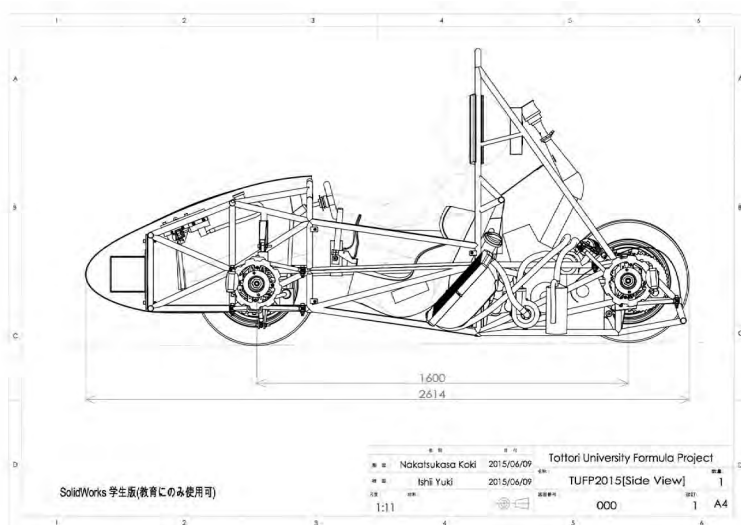
Tottori University

鳥取大学フォーミュラプロジェクト

Tottori University Formula Project

<http://tottori-icee.jp/tufp/>

第13回大会を終えて



今回の総合結果・部門賞

●総合66位

Profile チーム紹介・今までの活動

私たち TUFF は 2008 年に結成され、山陰地方唯一の出場校として全日本学生フォーミュラ大会に向け活動を行なっています。今年は、全動的種目完走と静的種目の順位向上を目標に頑張りました。

Team-member チームメンバー

中務 幸輝 (CP)
河村 直樹 (FA)
石井 裕基、竹内 大貴、新内 健太、岩本 有平、
中村 司、八尋 洸也、鶴田 龍一

Presentation

プレゼンテーション

マシンコンセプト「Usability」

今年度我々鳥取大学フォーミュラプロジェクトはマシンコンセプトに Usability を掲げました。Usability には操作性、有用性などの意味があります。車両の基本である「走る、曲がる、止まる」の性能を高めていくことでより Usability の高い車両となり、総合順位の向上につながると考えています。

昨年の大会では、車両は車検に合格できず悔いの残る結果となりましたが、さまざまな問題点、改善点を指摘していただきました。今年度はそれを踏まえ、このマシンコンセプトに基づいた車両設計をし、大会目標である全種目完走かつオートクロス・エンデュランスで戦える車両を製作しました。

Participation report

参戦レポート

今年は、大会初日に電装でトラブルが発生して燃料ラインが動作せず、それに加え、ブレーキテストで左前の車輪がなかなかロックしないなどのトラブルが発生したため、最終的に全ての車検に合格したのが、大会3日目となってしまいました。そのため、今年度も動的種目への出場ができない悔いの残る結果となってしまいました。静的種目に関しては、昨年度に比べ、より高い得点を獲得することができました。

今年度は車体が万全でない状態での大会参加となってしまったため、このようなトラブルに見舞われてしまいました。早期の車両完成が、当団体の越えられない目標となりつつあります。スケジュール管理などといった組織の基盤から見直していく必要があることを痛感させられました。

来年度は、できるだけ製作工程を減らせるような努力を行なっていくなどの改善策を反省会で決めました。事前走行できるかどうかで、動的種目全走破を達成できるかどうかが決まると言っても過言ではないので、来年度は事前走行テストを行なうことを目標とし活動を行なっていきたいと思います。

Sponsors スポンサーリスト

川崎重工業、F.C.C、NTN、日信工業、ソリッドワークス・ジャパン、THK、ミスミグループ、タイヤショップ T2、monocolle、リンパーツ、M4H、HEARTILY、光生アルミニウム工業、和光ケミカル、協和工業、鳥取大学のつくり教育実践センター、鶴田金型製作所、エスマート

Team-Movie <http://www.jsae.or.jp/formula/jp/13th/movie/66.html>